

INTERIM BUSINESS REPORT

第 86 期 中間報告書

2015.4.1 ▶ 2015.9.30

市光工業株式会社



a Light, a Life
ICHIKOH

市光工業株式会社

〒259-1192 神奈川県伊勢原市板戸80番地

TEL.0463-96-1451 FAX.0463-96-2080

URL : <http://www.ichikoh.com/>

**UD
FONT**

見やすく読みまちがえ
にくいユニバーサル
デザインフォント
を採用しています。



ICHIKOH

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、継続的な円安基調を背景に企業収益は堅調に推移しました。また、雇用・所得環境の緩やかな改善に伴い個人消費は底堅く推移し、全体的には緩やかな回復基調が継続しました。世界経済においては、北米は個人消費の増加による内需の底堅さから好調な傾向を示した一方、中国およびアセアンなどの新興国では、中国経済の鈍化等により先行き不透明な状況となりました。



当社グループが属する自動車業界におきましては、当第2四半期において、国内では、本年4月の軽自動車増税などの影響を受けて、自動車生産台数は前年同期比で減少致しました。アセアンにおいては、タイは、昨年度にあった自動車減税政策の反動などから国内需要は低調であったものの、輸出の回復により自動車生産台数は前年同期比で増加となり、マレーシアは本年4月に導入された物品・サービス税などが影響したため消費は低調で、自動車生産台数は前年同期並みとなりました。また、インドネシアは、インフレ抑制を目的とした利上げや、財政赤字削減を目的とした燃料補助金削減によるガソリン価格上昇などにより、自動車生産台数は前年同期比で大幅に減少し、アセアン3ヶ国の合計では、前年同期比で減少致しました。中国においては、不動産市場を中心とした投資の鈍化や株価下落の影響により景気の先行き不透明感が高まり、自動車需要は鈍化傾向で自動車生産台数も前年同期比で減少致しました。

このような環境の下、当社グループは、強固な企業体質を目指し、売上拡大に加え利益確保を最優先にグループ一丸となって、より一層の経費低減をはじめ、あらゆる合理化に取り組んでまいりました。その結果、当第2四半期連結累計期間において、中国の関係会社の完全子会社化の影響やタイ子会社の売上増の影響などから売上高は484億33百万円（前年同期比10.9%増）と増収を確保しました。また、生産能力の増強投資や人材の先行採用など成長のための先行費用の増加などはあったものの、タイ子会社の赤字幅が縮小したことなどから、営業利益93百万円（前年同期は営業損失1億55百万円）と営業損益は黒字転換致しました。しかしながら、為替差損益の影響がプラスからマイナスに転じたことなどから、経常利益は2億29百万円（前年同期比65.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は0百万円（前年同期は4億79百万円）と減益となりました。

当社の利益配分についての基本方針は、安定配当の継続実施であります。平成28年3月期の中間配当につきましては、基本方針並びに当社を取り巻く現在の経営環境や財務体質の改善等を総合的に勘案し、1株あたり1円50銭とさせていただきます。

平成28年3月期の業績予想につきましては、売上高は1,017億円、営業利益は15億円、経常利益は24億円、親会社株主に帰属する当期純利益は15億円を見込んでおりますが実際の業績は、今後様々な要因により、現時点での予想とは異なる結果になり得ることをご承知おきください。

株主の皆さまにおかれましては、より一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 オードバディアリ
ORDOOBADI Ali

コンパクトでありながら宝石のような質感を実現した、ALL ICHIKOHの創意工夫スズキ自動車株式会社の「ラパン」に採用

寸法や重量の制約の多い軽自動車において、決められた形状の中に複数の機能を確保しつつ、魅力的なデザインに仕上げるためには、部品構成、材料選択、光学設計、成形技術、組立技術等の全てのパートにおいて、創意工夫を発揮し、限られた期間内で製品化するための知恵と努力が求められます。

ラパンのヘッドランプにおいては、“宝石の輝き”をイメージした丸型デザインがテーマでした。コンパクトな有効面積の中に、ヘッドランプ、ターンシグナルランプ、クリアランスランプの3種類の機能を組み込んだ上で、法規制を満たしたランプを実現させることができました。実際の設計に当たっては、複雑なパズルを組み立てるような難しさがありましたが、輝くアルミ蒸着面の組合せにより宝石のような質感を表現できたと自負しています。

リアコンビネーションランプにおいては、4個のLEDを用いてテール・ストップランプを点灯させています。LEDから出た光はインナー・プリズムレンズを通して外に出ています。レンズ成形上必要な厚み寸法を確保しつつ、配光性能を引き出すための反射面を設けることに工夫を凝らし、成立させることができました。また、取り付け位置により、左右に分割された透明レンズ部分は、それぞれの奥行き寸法は異なりますが、プリズムの形状をきめ細かく変化させることで、左右の一体感のある見え方を可能にしました。

多くの制約条件を満たし、魅力的な製品をチームワークで実現するALL ICHIKOHの創造はこれからも続きます。



ヘッドランプユニット



リアコンビネーションランプユニット



スズキ ラパン

(要約) 四半期連結財務諸表

四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当第2四半期末 2015年9月30日現在	前連結会計年度末 2015年3月31日現在
資産の部		
流動資産	38,903	41,051
固定資産	46,393	46,165
有形固定資産	30,794	29,811
無形固定資産	2,614	2,891
投資その他の資産	12,984	13,462
資産合計	85,296	87,216
負債の部		
流動負債	34,656	34,749
固定負債	27,636	27,905
負債合計	62,293	62,655
純資産の部		
株主資本	20,751	20,896
その他の包括利益累計額	830	1,924
非支配株主持分	1,420	1,739
純資産合計	23,003	24,561
負債及び純資産合計	85,296	87,216

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	当第2四半期累計 2015年4月1日から 2015年9月30日まで	前第2四半期累計 2014年4月1日から 2014年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,568	1,991
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,546	△2,646
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,527	△215
現金及び現金同等物に係る換算差額	△109	208
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△614	△661
現金及び現金同等物の期首残高	10,086	11,297
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,472	10,635

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当第2四半期累計 2015年4月1日から 2015年9月30日まで	前第2四半期累計 2014年4月1日から 2014年9月30日まで
売上高	48,433	43,678
売上原価	39,349	34,945
売上総利益	9,084	8,732
販売費及び一般管理費	8,990	8,887
営業利益又は営業損失 (△)	93	△155
営業外収益	731	1,049
営業外費用	595	237
経常利益	229	656
特別利益	2	2
特別損失	61	32
税金等調整前四半期純利益	169	626
法人税等	237	168
四半期純利益又は 四半期純損失 (△)	△67	458
非支配株主に帰属する 四半期純損失 (△)	△67	△21
親会社株主に帰属する 四半期純利益	0	479

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

表示科目変更のご案内

企業会計基準委員会が、平成25年9月13日に公表した「企業結合に関する会計基準」および「連結財務諸表に関する会計基準」の改正により、連結財務諸表の表示方法が以下のとおり変更になりました。

- ・「少数株主持分」→「非支配株主持分」
- ・「少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失」→「四半期純利益又は四半期純損失」
- ・「少数株主利益又は少数株主損失」→「非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失」
- ・「四半期純利益又は四半期純損失」→「親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失」

株式の状況 (2015年9月30日現在)

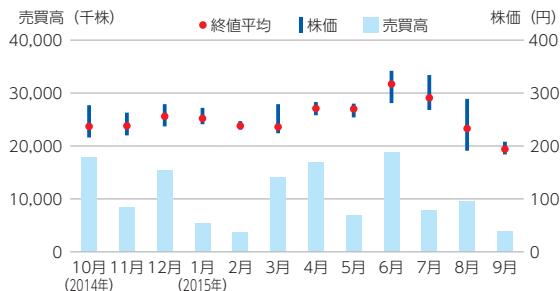
発行済株式の総数	96,036,851株
発行可能株式総数	200,000,000株
株主数	7,210名

大株主 (上位10名)

株主名	持株数	持株比率
ヴァレオ・バイエン	30,339千株	31.63%
トヨタ自動車株式会社	5,869	6.12
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	4,873	5.08
株式会社みずほ銀行	4,775	4.97
株式会社三菱東京UFJ銀行	3,688	3.84
日本生命保険相互会社	3,437	3.58
ダイハツ工業株式会社	2,712	2.82
三菱UFJ信託銀行株式会社	2,344	2.44
みずほ信託銀行株式会社	1,913	1.99
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	1,265	1.31

- (注) 1. 持株比率は自己株式 (143,256株) を控除して計算しています。また、表示単位未満を切り捨てて表示しています。
 2. 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社の所有株式のうち、信託業務に係る株式数は、4,873千株であります。
 3. 日本マスタートラスト信託銀行株式会社の所有株式のうち、信託業務に係る株式数は、1,265千株であります。

株価および株式売買高の推移



取締役および監査役 (2015年9月30日現在)

代表取締役社長	オードバディ アリ
取締役兼専務執行役員	井上誠一郎
取締役兼専務執行役員	伊勢谷英樹
取締役兼常務執行役員	宮下和之
社外取締役	齋藤隆次
社外取締役	ティヴォアヨン ブルーノ
社外取締役	青松英男
社外取締役	デルマス ベルナル
常勤監査役	橋本寿来
社外監査役	鶴巻 暁
社外監査役	スバストル ピエール

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
剰余金配当支払株主確定日	毎年3月31日
中間配当金支払株主確定日	毎年9月30日
定時株主総会の基準日	毎年3月31日 (そのほか必要があるときは、あらかじめ公告いたします。)
公告掲載方法	当社ホームページ http://www.ichikoh.com/
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店 および全国各支店で行っております。
単元株式数	1,000株

- 住所変更、単元未満株式の買取のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- 未払配当金の支払について
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

会社概要 (2015年9月30日現在)

商号	市光工業株式会社 (ICHIKOH INDUSTRIES, LTD.)
設立	1939 (昭和14) 年12月20日
資本金	8,929,538,428円
従業員数	連結 3,841 (903) 名 単体 1,625 (596) 名
(注)	従業員数は契約期間に定めのない従業員であり、パートおよび派遣社員等、契約期間に定めのある従業員は () 内に外数で記載しています。
本店	〒259-1192 神奈川県伊勢原市板戸80番地 TEL . 0463-96-1451 FAX . 0463-96-2080
ホームページのご案内	会社案内、新製品情報、採用情報、株主・投資家情報などの企業情報を掲載しております。 http://www.ichikoh.com/